

平成29年度 学校教育自己診断 結果の分析

【単位 %】

【大阪府立泉鳥取高等学校】

- ◎ 肯定率80%以上(A≥80)
- 肯定率70%以上80%未満(80>A≥70)
- △ 肯定率の方が高い(70>A>B)
- ◇◆ 肯定率と否定率の差が10未満(A-B≤10)＋が◇、－が◆
- ▼ 明らかに否定率が高い(A<<B)

白抜き項目は、
今年度重点目標

項目	対象	問 No	質問文	評価	①	②	①+②	③	④	③+④
					そう思う	ややそう 思う	(A)	あまり思 わない	全くそう 思わない	(B)
学力向上	保護者	2	子どもの基礎学力が向上したと感じる。	△	15.5	40.1	55.6	30.3	6.1	36.5
	生徒	3	自分の学力の向上を実感している。	△	15.6	45.1	60.7	29.9	8.0	38.0
	教員	2	学校全体として、授業は、基礎学力の向上に重点を置いている。	◎	43.5	37.0	80.4	10.9	2.2	13.0
学習評価 の納得度	保護者	3	子どもの学習の評価は、納得できる。	○	26.4	48.0	74.4	15.5	2.9	18.4
	生徒	5	学習の評価は、客観的で公平であり、納得できる。	○	19.1	53.8	72.9	23.0	4.1	27.1
	教員	8	私は、学習の評価は、客観的で公平にしている。	◎	47.8	37.0	84.8	4.3	4.3	8.7
進路情報 を知らせて いる	保護者	4	学校は、進路についての情報をよく知らせてくれる。	△	16.6	32.1	48.7	30.3	5.8	36.1
	生徒	7	先生は、進路についての情報をよく知らせてくれる。	○	26.2	47.3	73.5	22.8	3.7	26.5
	教員	12	学校全体として、進路についての情報をよく知らせている。	○	26.1	45.7	71.7	21.7	2.2	23.9
1年からの 進路教育	保護者	5	懇談等で、1年時から進路に関して具体的に先生と話しをしている。	△	17.0	36.5	53.4	27.4	7.6	35.0
	生徒	8	1年生の頃から、進路実現に向けた授業や進路に関心を持てる授業が行われている	△	15.2	50.8	65.9	28.6	5.2	33.8
	教員	11	学校全体として、1年次からキャリア教育の目標を設定し実践している。	△	26.1	41.3	67.4	19.6	6.5	26.1
進路を考え させている	保護者	6	子どもの将来の進路や生き方について、子どもと話し合う機会がある。	○	36.1	40.1	76.2	17.0	5.1	22.0
	生徒	9	将来の進路や生き方について考える機会がある。	△	23.0	46.2	69.2	25.2	5.4	30.6
	教員	14	学校全体として、生徒の進路や生き方について考える機会を設けている。	○	17.4	54.3	71.7	21.7	4.3	26.1
奨学金情報 周知	保護者	7	学校は、奨学金制度についての情報を知らせてくれる。	△	35.0	28.5	63.5	20.9	7.6	28.5
	生徒	10	先生は、奨学金制度についての情報を知らせてくれる。	△	17.6	45.1	62.7	31.2	5.9	37.1
	教員	15	私は、奨学金制度について理解している。	△	13.0	39.1	52.2	37.0	8.7	45.7
相談に乗 ってくれるか	保護者	10	学校は、親身になって相談に応じてくれる。	△	20.9	32.1	53.1	20.2	4.7	24.9
	生徒	13	悩みや相談に親身になって応じてくれる先生が多い。	△	18.0	44.9	62.9	28.9	8.2	37.1
	教員	21	学校全体として、教職員は生徒の意見をよく聞いている。	○	19.6	54.3	73.9	15.2	4.3	19.6
	教員	22	学校全体として、職員は、生徒と対話し常に信頼関係づくりに取り組んでいる。	◎	34.8	47.8	82.6	13.0	2.2	15.2
人権を尊 重した対応	保護者	12	学校は、子どもの人権を尊重する姿勢で指導に当たっている。	△	13.4	33.9	47.3	19.9	6.9	26.7
	生徒	15	先生は、人権を尊重する姿勢で対応してくれている。	△	15.4	51.0	66.4	27.1	6.5	33.6
	教員	24	学校全体として、人権を重視した上で様々な生徒指導や保護者対応を行っている。	◎	32.6	47.8	80.4	15.2	0.0	15.2
教育相談 制度	保護者	13	スクールカウンセラーに相談できることを知っている。	△	25.6	19.5	45.1	13.4	9.4	22.7
	生徒	16	生徒相談室の利用方法を知っている。	▼	11.7	29.3	41.0	26.9	31.5	58.4
	教員	25	私は、生徒相談室の利用方法を知っている。	○	43.5	32.6	76.1	13.0	4.3	17.4
行事の工 夫	保護者	17	学校行事(体育祭・文化祭・校外学習など)は、子どもが楽しくできるように工夫されている。	△	26.0	34.7	60.6	21.7	5.4	27.1
	生徒	20	文化祭は、みんなが楽しくなるよう工夫されている。	△	21.7	46.2	67.9	24.3	7.8	32.1
	生徒	21	体育祭は、みんなが楽しくなるよう工夫されている。	△	20.2	44.3	64.4	27.3	7.8	35.1
	教員	29	学校全体として、生徒が楽しくなるように文化祭を工夫している。	○	19.6	56.5	76.1	17.4	2.2	19.6
	教員	30	学校全体として、生徒が楽しくなるように体育祭を工夫している。	○	23.9	52.2	76.1	15.2	2.2	17.4
部活の活 性化	保護者	18	学校は、部活動が活発になるように取り組んでいる。	◆	7.6	23.8	31.4	26.7	8.7	35.4
	生徒	22	学校は、部活動が活発になるように取り組んでいる。	◆	11.7	34.7	46.4	30.6	22.1	52.7
	教員	31	学校全体として、学校の部活動が活発になるように取り組んでいる。	▼	6.5	32.6	39.1	37.0	15.2	52.2
清掃への 取り組み	保護者	19	学校は、掃除がいきとどき、綺麗な環境に整えられている。	△	14.1	41.2	55.2	15.5	9.0	24.5
	生徒	23	自分は、掃除に積極的に取り組んでいる。	○	28.0	42.7	70.7	24.3	4.1	28.4
	教員	32	学校全体として、普段から校内は綺麗な環境に整えられている。	◆	13.0	32.6	45.7	28.3	26.1	54.3
	教員	33	学校全体として、普段から清掃活動をしっかり行っている。	△	8.7	43.5	52.2	32.6	15.2	47.8
いじめ対 応	保護者	24	学校は、いじめについて子どもが困っていることがあれば、真剣に対応してくれる。	△	10.1	25.6	35.7	13.7	4.7	18.4
	生徒	25	先生は、いじめについて私たちが困っていることがあれば真剣に対応してくれる。	△	19.7	44.0	63.8	29.7	6.5	36.2
	教員	40	学校全体として、いじめが起こった際の体制が整っており、迅速に対応することができる。	○	26.1	50.0	76.1	13.0	4.3	17.4